

新型コロナウイルス感染症対策の着実な推進



地域外来・検査センター運営事業 休日急患診療所運営事業

(健康課)

事業費計 3,520 万円

地域外来・検査センターおよび休日急患診療所を運営し、新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、医師が検査の必要があると判断した人には、PCR検査などを実施します。

円滑な検査体制の継続により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図ります。



中小企業者等支援事業 (産業支援センター)

事業費 2,000 万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小事業者が、事業継続のため借り入れた資金に係る利子などを支援します。

コロナ対策長期資金利子補給事業 (水産課)

事業費 7万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者が、事業継続のため借り入れた資金に係る利子を支援します。

再生可能エネルギーによる地域内経済循環



再生可能エネルギープロジェクト推進事業（エネルギー推進課）

事業費 2億212万円

地域資源を活用した再生可能エネルギーの地産地消を通じた地域内経済循環を創出し、市民や市内事業者、行政が主体の再生可能エネルギー事業となるよう官民が連携して持続可能なまちづくりを進めます。

○再生可能エネルギー推進計画策定支援業務委託（1,000万円）

多くの市民の意見を取り入れながら地域主体による再生可能エネルギー事業の導入に向けた推進計画を策定します。

○再生可能エネルギー事業への資本参加（1億5,300万円）

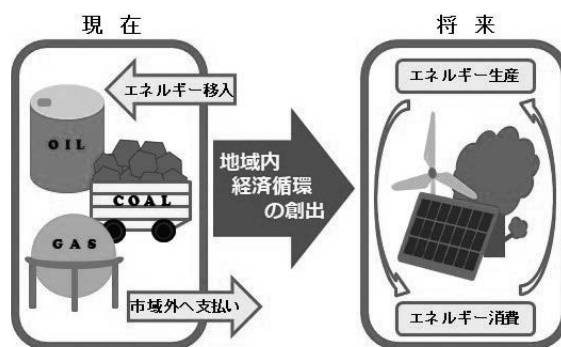
再生可能エネルギー事業による収益を地域の課題解決に活用する仕組みづくりに向け、発電事業や電力供給事業に対し出資を行います。

○再生可能エネルギー政策の推進事務費（3,867万円）

再生可能エネルギーの普及啓発を行います（人件費を含む）。

○宮古市スマートコミュニティ推進協議会事業（45万円）

再生可能エネルギーの地産地消、対災害性の向上に資するスマートコミュニティ推進協議会の取り組みを支援します。



住宅用太陽光発電システム導入促進事業（エネルギー推進課）

事業費 600万円

再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置経費の一部を支援します。

持続可能な公共交通の構築

快適で持続可能な公共交通の構築に取り組みます

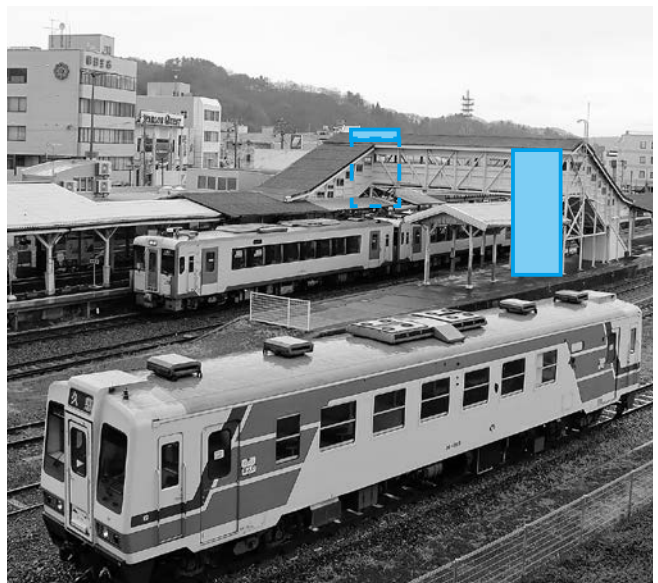


公共交通利用環境整備事業（公共交通推進課）

事業費 3,140 万円

現在、宮古駅のホーム間を渡る跨線橋は、バリアフリー化されていないため、だれもが快適に利用できる環境ではありません。

この跨線橋の両側にエレベーター棟を設置するなど、バリアフリー化に向けた環境整備を行うため、三陸鉄道株式会社が行う、設計に係る費用について支援します。



■ =エレベーター棟設置予定箇所

県と沿線市町村で三陸鉄道を支援します



三陸鉄道経営強化支援等事業

(公共交通推進課)

事業費 4,490万円

県と沿線市町村では、三陸鉄道の安全・安定運行を支えるため、施設や設備の維持管理費のほか、老朽化した施設の更新などに係る費用を支援します。また、利用者の増加を図るため、PR活動などの各種事業に取り組み、三陸鉄道を支援します。



JR山田線の利用促進を図るため、新たに通学定期券購入者への助成を行います



JR山田線利用促進事業

(公共交通推進課)

事業費 330万円

JR山田線の利用促進を図るため、市内イベントの開催に合わせた臨時列車への運行支援や回数乗車券購入者への支援のほか、新たに通学定期券購入者への支援を行います。



運行支援や利用促進により、
バス路線を維持します



路線バス対策事業

（公共交通推進課）

事業費 7,570 万円

市民の交通手段を確保するため、バス事業者に対し運行経費の一部を支援します。また、利用者の増加を図るため、バス事業者との連携によるPR活動や高齢者エリア定期券の販売を支援します。



新里・川井地域の公共交通を維持します



新里・川井地域バス運行管理事業

新里・川井地区地域交通補完事業

（新里・川井総合事務所）

事業費 計 3,640 万円

公共交通機関の不足している新里および川井地域において、住民の移動手段を確保するため、地域バスを運行します。

また、タクシー運行経費の一部を支援し、バスなどの公共交通利用が困難な地域住民の移動手段を確保します。

